



学校だより

令和5年 8月 30日
No. 5 9月号
横浜市立瀬谷第二小学校
校長 山崎 由美

学校教育目標

友情わく わく 希望わく 毎日わくわくする学校

子どもも大人もわくわくする学校に

校長 山崎 由美

夏休みに入ったばかりの7月末に、各学年・専科教員たちとこの4か月で見た子どもの姿から、残りの8か月で子どもたちをどう育てていくかということをお話する機会を作りました。

どの学年も本校の子どもは素直で穏やかで優しいという良さがある反面、指示がないと動けない、正解を求めすぎる、自分で考えることが苦手な周りに流されてしまうなどの課題が共通していました。（それぞれ別々に考えていたはずなのに面白いほど一致していました。）もちろん、ここに各学年の子どもカラーが加わるため、それぞれの学年や教科で具体的に何をやるかということには違いがでました。

例えば、学力を向上させるという視点では、授業で“振り返り”に重点を置くことで言語力をつけたり自己の学びをはっきりさせたりする・“これを使わない”など課題に条件をつけ、簡単に答えを出すのではなく、その条件を超えるために思考するように仕掛けを作る・子どもたちに選択をさせる場面をつくり自分ごととして考えられるようにする・対話する場面を意識的に設定し自信につなげるなど、それぞれの学年や教科指導者の熱い思いが伝わってきました。学力という視点だけでなく、朝の集会を活かしてペア学年で読み聞かせをし、交流活動を充実させる・地域・社会と積極的に交流をして子どもたちに生きた学びをさせるなど、聞いている私もわくわくするプランがたくさんありました。

夏休みが終わり、ここから前期のまとめ、そして後期に向けてそれぞれの学年が再始動します。各学年、教科担任たちがやってみたくて考えたことを実行することで本校の素直な子どもたちは様々な経験を積み上げ、吸収します。一朝一夕で大きな変化は見られないかもしれませんが、しかし、粘り強く継続して取り組んでいくことで子どもたちは必ず成長します。どんなふうに変わっていくか、そう考えるとわくわくしてきます。

どの教師も、今年1年どのように子どもたちを成長させていくかという熱い思いで指導にあたっています。それが子どもたちを動かし成長させる原動力になります。その思いが伝わってきた7月末。

“子どもも大人もわくわくする学校”になるよう、夏休み明けも教職員一同、一丸となって頑張ります。保護者、地域の皆様もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

☆瀬谷第二小学校ホームページに、日々の学校の様子を、「わくわくレポート」として不定期でアップしています。合わせてご覧ください。

